

Test of Chinese as a Foreign Language
(TOCFL Listening & TOCFL Reading)

華語文

| | |
|---|---|
| 閱 | 聽 |
| 讀 | 力 |
| 測 | 測 |
| 驗 | 驗 |



國家華語測驗推動工作委員會

Steering Committee for the Test Of Proficiency-Huayu



組織簡介 組織概要

國家華語測驗推動工作委員會（簡稱華測會）於2005年11月正式成立，係由中華民國教育部專案經費所成立的組織，為研發與推廣「華語文能力測驗」的專責單位，旨在研發及推廣臺灣對外華語文相關測驗，以因應世界各地華語學習之熱潮。

華測會主要任務：

- 一、規劃華語文能力測驗內容
- 二、發展華語文能力測驗題庫
- 三、開發華語文電腦測驗系統
- 四、推廣臺灣對外華語文能力測驗
- 五、拓展全球華語文能力測驗之合作交流

2005年11月、中華民国教育部の指導の下、華語能力測定試験推進委員会（以下、「華測会」）が正式に設立されました。主な目的は、台湾における効果的な華語能力測定方法を研究推進し、世界各地の華語学習熱を盛り上げることです。

華測会の主要任務：

- ◆ 1、華語能力試験内容の計画設計
- ◆ 2、華語能力試験問題データベース構築
- ◆ 3、コンピュータによる華語試験の開発
- ◆ 4、台湾における外国語としての華語能力試験の推進
- ◆ 5、世界各地の華語能力試験機関との交流

※ 各項公告如有變更一律以官方網站公佈為準，不另行個別通知。

※ 各項目は予告無く変更される場合があります。最新情報は当機関のウェブサイトを参照してください。



測驗簡介 試驗概要

「華語文能力測驗」為一套專為母語非華語者所研發的標準化語言能力測驗，從2001年8月開始籌劃，由國立臺灣師範大學國語教學中心、華語文教學研究所及心理與教育測驗研究發展中心三個研究團隊共同研發。2003年12月華語文能力測驗正式對外開辦考試，至今考生國籍遍布全球六十多個國家。為使本測驗能夠與國際語言標準接軌，提供考生能夠衡量其語言能力的國際評量工具，華測會於2008年積極著手研擬「新版華語文能力測驗」，並於2013年正式推出。

新版華語文能力測驗之測驗架構將語言能力分成三等六級，三等分別為入門基礎級、進階高階級及流利精通級，而每一等又可再依據測驗成績細分為兩級，分別為入門級、基礎級、進階級、高階級、流利級、精通級，共六級。應試者可依自己的學習背景或語言能力選擇合適的等級應考。

「華語能力試驗」は、華語の非母語話者のために、国立台湾師範大学国語教育センターと華語教育研究所、心理教育試験センターの共同プロジェクトチームにより開発された試験で、2001年8月より試験運用されました。2003年12月には正式に実施され、これまでに世界60カ国以上の学習者が受験しています。華語能力の国際的な判断基準となるよう2008年よりさらに研究が重ねられ、2013年から正式に「新華語能力試験」が実施されています。

新華語能力試験には、入門基礎、中上級、超級の3レベルがあります。試験成績により各レベルはさらに2階級に細分化され、入門級、基礎級、中級、上級、超級、最超級の6階級となっています。試験応募者は、自身の学習経歴や言語能力を踏まえて、受験レベルを選択してください。



適用對象 試験対象者

適合母語非華語者。任何想要瞭解自己的華語程度，或是有興趣想要在使用華語的地區求學、工作或進行貿易之人士，均可報名參加。

華語の非母語話者で、自身の華語能力レベルが知りたい者。または、華語圏で学習、仕事をしたい者。

| 測驗等級 試験レベル | 測驗結果 試験結果 | CEFR | 學習時數 学習時間数 | 詞彙量 語彙数 |
|------------------|--------------|------|------------------------------------------|------------|
| 入門基礎級 入門基礎レベル | 入門級 入門級 | A1 | 在華語地區學習120-240小時 華語圏で120-240時間 | 500 |
| | | | 在非華語地區學習240-480小時 華語圏以外で240-480時間 | |
| | 基礎級 基礎級 | A2 | 在華語地區學習240-360小時 華語圏で240-360時間 | 1000 |
| | | | 在非華語地區學習480-720小時 華語圏以外で480-720時間 | |
| 進階高階級 中上級レベル | 進階級 中級 | B1 | 在華語地區學習360-480小時 華語圏で360-480時間 | 2500 |
| | | | 在非華語地區學習720-960小時 華語圏以外で720-960時間 | |
| | 高階級 上級 | B2 | 在華語地區學習480-960小時 華語圏で480-960時間 | 5000 |
| | | | 在非華語地區學習960-1920小時 華語圏以外で960-1920時間 | |
| 流利精通級 超級レベル | 流利級 超級 | C1 | 在華語地區學習960-1920小時 華語圏で960-1920時間 | 8000 |
| | | | 在非華語地區學習1920-3840小時 華語圏以外で1920-3840時間 | |
| | 精通級 最超級 | C2 | 在華語地區學習1920小時以上 華語圏で1920時間以上 | |
| | | | 在非華語地區學習3840小時以上 華語圏以外で3840時間以上 | |



測驗題型 試驗形式

❖ 華語文聽力測驗 華語聽解試驗 ❖

入門基礎級聽力測驗分為四個部分：看圖回答、問答理解（圖片選項）、對話理解（圖片選項）與對話（文字選項），前三個部分為三選一的單選題，第四部分對話為四選一的單選題，考試時間約60分鐘。

進階高階級和流利精通級則分為二個部分：對話（文字選項）與段落（文字選項），共50個四選一的單選題，考試時間約60分鐘。

入門基礎の聽解試験は4種類の問題：絵を見て答える問題、問答理解、会話内容理解（写真選択）、会話（文字選択）。前の三部分は三択問題、四つ目は四択問題、試験時間は約60分間。

進階高階級と流利精通級は二種類の問題：会話と段落、合計50問の四択問題。試験時間は約60分間。

| 測驗等級 試験レベル | 看圖回答 絵を見て 答える問題 | 問答理解 問答理解 | 對話理解 会話理解 | 對話 会話 | 段落 独話 |
|------------------|-----------------------|--------------|--------------|----------|----------|
| 入門基礎級 入門基礎レベル | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | |
| 進階高階級 中上級レベル | | | | ✓ | ✓ |
| 流利精通級 超級レベル | | | | ✓ | ✓ |

❖ 華語文閱讀測驗 華語讀解試驗 ❖

入門基礎級閱讀測驗分為五個部分：單句理解、看圖釋義、選詞填空、完成段落與閱讀理解，共40個三選一的單選題、5個四選一的單選題以及5個配合題，考試時間為60分鐘。

進階高階級和流利精通級則各分為二個部分：選詞填空與閱讀理解，共50個四選一的單選題，考試時間為60分鐘。

入門基礎の讀解試験は5種類の問題：文理解、絵図解釈、空欄穴埋め、段落完成と讀解理解。合計40問の三択問題、5問の四択問題と5問の組み合わせ問題。試験時間は60分間。

中上級と超級は2部分：空欄穴埋め、長文讀解。合計50問の四択問題。試験時間は60分間。

| 測驗等級 試験レベル | 單句理解 文理解 | 看圖釋義 絵図解釈 | 完成段落 段落完成 | 選詞填空 穴埋め | 閱讀理解 長文讀解 |
|------------------|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 入門基礎級 入門基礎レベル | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 進階高階級 中上級レベル | | | | ✓ | ✓ |
| 流利精通級 超級レベル | | | | ✓ | ✓ |



分數等級 試驗結果

本測驗成績採用量尺分數，滿分為80分。華語文能力測驗自2013年起採用量尺分數及標準設定結果作為判斷通過等級的依據標準。量尺分數是基於試題反應理論之羅氏模式，並依據測驗題目難度和考生答對題數統計而來的。答對題數越多者，量尺分數越高。相較於以往根據答對題數做為判斷依據而言，量尺分數不易受到測驗題目難度變化影響，因此更客觀。

試験成績は相対評価で、満点は80点です。華語能力試験の結果は、2013年より相対評価を採用し、各レベルの足切り点は標準設定研究の結果に基づいています。項目反応理論のRaschモデルにより、問題の難易度と受験者の正答数から試験の点数が計算されます。正答数の多いほど、点数が高くなります。問題の難易度に影響されない分、絶対評価に比べ相対評価の方が客観的であると言えます。

❖ 華語文聽力測驗 華語聽解試驗 ❖

| 測驗等級 試驗レベル | 通過分數 合格点 | |
|-----------------|------------------|---------------|
| | 入門基礎級 入門基礎レベル | 入門級 入門級 41 |
| 進階高階級 中上級レベル | 進階級 中級 46 | 高階級 上級 61 |
| 流利精通級 超級レベル | 流利級 超級 50 | 精通級 最超級 61 |

❖ 華語文閱讀測驗 華語讀解試驗 ❖

| 測驗等級 試驗レベル | 通過分數 合格点 | |
|-----------------|------------------|---------------|
| | 入門基礎級 入門基礎レベル | 入門級 入門級 42 |
| 進階高階級 中上級レベル | 進階級 中級 48 | 高階級 上級 64 |
| 流利精通級 超級レベル | 流利級 超級 52 | 精通級 最超級 69 |



測驗用途 試驗用途

取得華語文能力測驗證書，此證書可作為：

- 「臺灣獎學金」申請之參考標準
- 「海外聯招會」中文科目採計之參考標準
- 臺灣大專院校招收外籍學生之華語能力參考標準
- 求職所需的華語能力證明

研究調查顯示，欲在臺灣就讀中文系所或華語相關系所的外籍人士需具備流利級的語言能力，文學院其他系所則建議應達高階級標準；文學院以外的院所可依各系所對外籍生華語文能力的要求各自訂定門檻。而各大學招收外籍生時，建議其應規範所有欲進入大學或研究所就讀之外籍人士至少需達到基礎級語言能力，以應付一般日常溝通所需。

華語能力證明書は、以下の用途で使用することができます：

- 「台湾奨学金」申請時の証明書
- 台湾の中国語による大学や教育機関申請
- 台湾の高等機関で勉強している外国籍学生の華語能力証明
- 求職時の華語能力証明

研究によると、台湾の中国語系及び華語関連の学部で勉強する外国籍学生には、超級以上の言語能力が求められます。人文学系のプログラムに応募する場合は、上級以上が必要です。それ以外の専門のプログラムに応募する場合の言語レベルは、プログラム毎に定められています。台湾の大学で勉強したい留学生は、簡単な日常のコミュニケーションを遂行するためにも、最低基礎レベルの能力があることが好ましいでしょう。





測驗考點 試驗会場

華語文能力測驗在臺灣境內一年舉行二次定期測驗，分別在五月和十一月第一個星期六舉行，目前在臺灣北、中、南三區都設有考場。

國外部分，目前已在日本、韓國、泰國、越南、印尼、馬來西亞、美國、加拿大、巴拉圭、阿根廷、英國、法國、波蘭、德國、瑞士、俄羅斯、澳洲、紐西蘭、瑞典、奧地利、比利時等地設置考場，未來將增設更多海外考點。若需進一步資訊，請連結<http://www.sc-top.org.tw/>，或請聯繫國家華語測驗推動工作委員會。

華語能力試験は、台湾内で年2回、5月と11月の第1土曜日に行われます。現在は、台湾北部、中部、南部の三地区に会場を設けています。

国外に関しては、現在、日本、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、アメリカ、カナダ、パラグアイ、アルゼンチン、イギリス、フランス、ポーランド、ドイツ、スイス、ロシア、オーストラリア、ニュージーランド、スウェーデン、オーストリア、ベルギー等に試験会場があります。今後、さらに試験場が増える予定です。詳細は、<http://www.sc-top.org.tw/>を参照するか華測会に連絡してください。

日本台湾教育センター

〒102-8160日本東京都千代田区富士見2-17-1 (法政大学内)

電話:03-3264-9362

FAX:03-3264-9362

E-mail:190134@staff.tku.edu.tw



國家華語測驗推動工作委員會

Steering Committee for the Test Of Proficiency-Huayu

電話/Tel : 886-2-7734-5638

傳真/Fax : 886-2-3343-2413

電子郵件/E-mail : service@sc-top.org.tw

網址/Website : <http://www.sc-top.org.tw/>